

健康的な生活で薬物乱用者〇へ

城香中学校 一年三組

アリバタスニム

私は、最近ネットで「薬物乱用者が増えて
いる」というニュースをよく見ます。日本では
はどの年齢でも薬物乱用をすることはもう
ん、危険性のある薬物を持つすることは法律
で全く禁じられています。では、どうして薬
物乱用はしてはいけないのでしょうか。

一つ目の理由は、私たちの体や脳に悪影響
を与えるからです。体の中にある様々な臓器

の機能の低下やがん、突然の大量出血や細胞
が破壊されるなど、薬物乱用が原因になる病
気はどれも命に関わるものばかりです。脳に
与える悪影響影響については、幻覚やフラッシュ
バックが起こることや感情のコントロールが
できなくなるなどの症状があります。これら
の症状によつて心にも大きく傷がつき、突然
人格が変わつてしまなごのこともあります。
また、私たち学生には必ずなくてはならない
記憶力や学習能力の低下も引き起こします。

中には読み書きができないなってします。

二つ目の理由は、依存症になる可能性が非常に高いからです。薬物乱用者のほとんどの人気が持っているこの依存症の多くは、ヘメタシンフェタミンといふ物質が原因です。私の脳にはたくさんの中のホルモンがあり、その中で最も大切な三つの脳内ホルモンがあります。

一つ目は、ドーパミンです。これは快感や多幸感、意欲を作り感じたりする

ホルモンです。二つ目は、ノルアドレナリニです。これは、不安や恐怖、緊張などといふストレスや危険を察知したときにつくんだからストレスを上げたり、血流量を増やしたりして活動しやすい状態をつくるホルモンです。三つ目は、セロトニンです。これは、ドーパミンとノルアドレナリンの量を調整し精神を安定させるホルモンです。この三つの脳内ホルモンは、私たちの楽しい、気持ち良い、もつとしたいなどといった感情を作ります。

とや感じることに欠かせないものであり、生きていくうえでとても重要なものでもあります。そして、メタニフェタミンといふ物質はとても有害なもので、他の有害物質よりも簡単に脳に侵入することができます。もし、薬物乱用をすることによつて、脳に一度侵入してしまうと、メタニフェタミンは三つの大切でしまうことによります。このことにより、薬物乱用をすることに快感や多幸感を得ることがでなつてしまします。

きるようになり、依存症になつてしまふ。依存症になると以前よりたくさん薬物乱用をしてしまっため、体や脳、心への影響がより悪化していきます。

ほかにも薬物乱用をすることには、数多くの悪影響があります。さらに、この薬物乱用はたばこやアルコールより危険性が低いと思われがちですが、実はたばこやアルコールより危険性がとても高いといふことがうかになつてゐるそうです。また最近は私た

ちを引きつけやすくなるためにおかしに加工したり、「集中力が高まるよ」「寝ごこちが良くなるよ」などうそを言つたりして売買されているため、意外と身近なことでもあります。そこで、私は藻物乱用から自分を守つためには、まず体と心の健康を保つことがとても大切だと思いました。その理由は、藻物乱用者の多くの人のきづかけはストレスや悩みにしさなじのつらい気持ちからのがれるためだというのが多いからです。心の中にストトレや悩みをためこまずに話しゃしい人に相談してみることで心をいつも楽にしておきましょう。そして毎日少しずつ運動をすることがヨガラニスの良い食事、早寝・早起きをすることがハガケ、体の健康をし、カリと保つ藻にたよることを減らしていきました。

ちが知らないよう、薬物乱用することには私たす。体への悪影響だけではなく、脳や心にもたくさん悪い影響を与えます。大きな病気や

障害から自分を守るためにも薬物乱用をしないことはとても重要なことです。まずは薬物乱用をするきっかけをつくらないよう、心の中に「ない思い」をためないことを心がけ、今の生活を見直してみることでも、と健康的でバランスの良い生活を送ることを心がけましょう。一人ひとりの生活が今以上に健康的になることが薬物乱用者を減らすことに大きくつながると思っています。